



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 東 福

コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学

TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,130	11.3	468	34.5	505	32.5	324	34.4
2019年3月期第1四半期	9,165	4.2	715	20.2	748	14.4	494	17.4

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 353百万円 (8.6%) 2019年3月期第1四半期 325百万円 (32.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	51.01	
2019年3月期第1四半期	77.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	30,617	17,394	56.8
2019年3月期	33,482	17,428	52.1

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 17,394百万円 2019年3月期 17,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		61.00	76.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		15.00		47.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	10.9	850	36.8	900	36.2	600	36.3	94.23
通期	35,000	9.2	1,900	26.9	2,000	26.2	1,300	28.0	204.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,615,070 株	2019年3月期	6,615,070 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	247,405 株	2019年3月期	247,405 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,367,665 株	2019年3月期1Q	6,367,675 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が継続する一方、米中貿易摩擦の拡大や中国市場の減速、新興国経済の先行き懸念等により、不確実性が高まる中で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は8,130百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益は468百万円（前年同期比34.5%減）、経常利益は505百万円（前年同期比32.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、災害復旧工事需要が一巡したことで、市場に落ち着きが見られるものの、災害復旧工事関連以外の公共工事需要の回復や消費税増税前の駆け込み需要等の動きが見え始める中、販売部門においては好調が続く沖縄地区を中心に既存取引先の需要の掘り起こしに努めるとともに、社会インフラの補修に関連する商品の販売強化にも取り組んでまいりました。また、レンタル部門においても災害復旧工事に重点がおかれ、発注が遅れていた通常の公共工事需要の取り込みに注力してまいりましたが、災害特需剥落の影響により、売上高は2,905百万円（前年同期比17.1%減）、セグメント利益は271百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、自動車業界に向けた車載用半導体の需要においては堅調に推移する中、新商品の開拓と提案営業の強化に努めるとともに、生産部品や消耗部品の販売強化にも努めてまいりました。しかしながら、スマートフォン需要の落ち込みによりロボット業界や電子部品・半導体業界における一部取引先の在庫調整や設備投資抑制の動きが継続したことにより、売上高は5,090百万円（前年同期比8.4%減）、セグメント利益は276百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、事業を展開する地域において、災害復旧工事関連以外の公共工事需要が回復し、発注が遅れていた護岸工事や治水工事等への取り組みが本格化する中、公共工事並びに民間工事への営業強化による受注獲得に努めるとともに、製造コストの価格転嫁に向けて販売単価の交渉にも努めてまいりました。この結果、売上高は134百万円（前年同期比26.3%増）、セグメント利益は25百万円（前年同期比114.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度に比べ2,865百万円減少（8.6%減）し、30,617百万円となりました。増減の主な内容は、受取手形及び売掛金が2,072百万円、現金及び預金が425百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ2,830百万円減少（17.6%減）し、13,223百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が2,355百万円、未払法人税等が495百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ34百万円減少（0.2%減）し、17,394百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が63百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.8%と前連結会計年度に比べ4.7ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,413	3,988
受取手形及び売掛金	10,782	8,710
電子記録債権	2,085	2,370
貸貸料等未収入金	717	588
商品及び製品	4,271	4,197
仕掛品	130	50
原材料及び貯蔵品	13	12
その他	784	632
貸倒引当金	△300	△274
流動資産合計	22,898	20,276
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	5,847	5,632
その他(純額)	2,526	2,523
有形固定資産合計	8,374	8,155
無形固定資産		
のれん	55	51
その他	38	36
無形固定資産合計	94	87
投資その他の資産		
投資有価証券	1,784	1,783
その他	352	338
貸倒引当金	△22	△25
投資その他の資産合計	2,114	2,096
固定資産合計	10,582	10,339
繰延資産		
開発費	1	1
繰延資産合計	1	1
資産合計	33,482	30,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,300	8,944
短期借入金	1,031	950
1年内返済予定の長期借入金	216	183
リース債務	681	642
未払法人税等	540	44
賞与引当金	324	139
役員賞与引当金	69	—
割賦利益繰延	270	251
その他	574	952
流動負債合計	15,008	12,109
固定負債		
長期借入金	66	50
その他の引当金	399	401
退職給付に係る負債	354	351
その他	224	310
固定負債合計	1,045	1,113
負債合計	16,053	13,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,015	1,015
利益剰余金	14,756	14,692
自己株式	△231	△231
株主資本合計	16,722	16,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621	637
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	85	99
その他の包括利益累計額合計	706	735
純資産合計	17,428	17,394
負債純資産合計	33,482	30,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,165	8,130
売上原価	7,530	6,772
差引売上総利益	1,634	1,357
割賦販売未実現利益戻入額	51	34
割賦販売未実現利益繰入額	44	16
売上総利益	1,641	1,375
販売費及び一般管理費	926	907
営業利益	715	468
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	14	16
持分法による投資利益	5	0
貸倒引当金戻入額	5	23
その他	18	11
営業外収益合計	50	56
営業外費用		
支払利息	8	5
為替差損	9	13
その他	—	0
営業外費用合計	17	19
経常利益	748	505
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	4
出資金評価損	6	—
特別損失合計	7	4
税金等調整前四半期純利益	746	500
法人税、住民税及び事業税	141	49
法人税等調整額	110	126
法人税等合計	251	176
四半期純利益	494	324
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	494	324

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	494	324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140	11
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△15	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	3
その他の包括利益合計	△169	28
四半期包括利益	325	353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	353
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,503	5,555	106	9,165	—	9,165
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	8	—	11	△11	—
計	3,506	5,564	106	9,177	△11	9,165
セグメント利益	436	371	11	819	△104	715

(注) 1 セグメント利益の調整額△104百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,905	5,090	134	8,130	—	8,130
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	7	—	23	△23	—
計	2,921	5,098	134	8,153	△23	8,130
セグメント利益	271	276	25	572	△103	468

(注) 1 セグメント利益の調整額△103百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。